

## 若い世代と民主主義を語る～SEALDs もやってくる

みどり岡山では6月19日に表題のテーマで「みんなの自治講座」を行い、20代、30代の3人の方に話を聞きました。SEALDs 関西の山口晶子さん（神戸女学院大学）、宮本龍門さん（おかやまいっぼん）、山本圭さん（岡山大学教員）です。日本の主権者は私であり、あなたであり、権利と自由がなくなってから「知らなかった」とはいえない。日本では感情や無意識を意識した取り組みが必要。代表制民主主義が形骸化するなか、市民が主人公としてどのように関わるのか。若い皆さんの力と熱意に希望をいただく時間になりました。



### ◆若者のみなさんとの出会う場を大切に

18歳選挙権がスタートしました。岡山市でも選管による出前授業などの取り組みが行われていますが、私自身も若者の皆さんと顔のみえる関係作りが必要だと感じています。

### ★若者の政治参加ワークショップ／

6月2日に岡山大学で行われました。主催は、岡山市選挙管理委員会と岡山大学あごら。NPO法人YouthCreateの原田謙介さんも協力しています。大学生の皆さんによる前向きな進行がよかったです。



原田謙介さんと

### ★だっぴ50×50 2016「みつかる」／6月25日に

行われた「だっぴ」にゲスト参加。NPO法人だっぴは、若者と大人がつながることが地域の未来をひらくと活動しています。岡山市教委とも市民協働事業を展開しています。



### こんなスポット◇「姫路YMCAアフタースクール・森の学童保育園」

この4月に「森に学び、森と育ちあう」学童保育がオープンしたと聞いて、7月12日に友人たちと訪問しました。兵庫県太子町です。「森」は近くの太子キャンプ場。子どもたちは森の生命力のなかで、自らの可能性を自らの力でしっかりと発揮していけるのではないかと感じました。訪問した私たちも元気に。



**編集後記★** やったー、岡山市職員の池山直さん。6月13日に女子ボクシング世界チャンピオン4度目の防衛です。試合は東京でしたので観戦にはいけませんでした。池山応援団Tシャツをきて、妹（元日本チャンピオン）からの中継を固唾を飲んで聞いていました。励まされます。



## のぞみ日誌から

### 岡山市子ども読書推進の会で教育長と懇談

6月25日に会の皆さんと要望書をだしました。要望の一つが、学校司書の正規職員の全校配置を進めることです。専門性をしっかりと発揮できるように充実していただきたいです。



### 津島小学校で自転車講習。免許証発行

子どもたちは交通指導員の方の話をよく聞いています（6.2）。4年生だけ実地の体験講習がありました。安心して自転車に乗るためにと行政に働きかけていますが、小学生への免許証発行が決まったときは嬉しかったです。



### 敬愛する犬飼明子先生が逝去されました

6月23日に、犬飼明子先生が亡くなられました。94歳。犬飼先生は、故横田えつこさんの文庫活動の大先輩として、また後援会長として、横田さんとともに歩んでこられた方です。お会いすると私にも適切な言葉を必ず一言。大いに励まされました。心からのご冥福をお祈りします。



### 金香百合さんを講師に第1回里親講座と座談会

講座は7月3日に行われ、主催は（一社）ぐるーん。岡山市との市民協働モデル事業です。金さんは、「すべての人に幸せな子ども時代を」と、在日3世のご自身のライフストーリーを交えながら、短期間の一時里親についての体験談と大切さを話されました。参加した皆さんの表情がピカピカになりました。第2回も金さんが講師で、10月30日です。



### ずっと平和を、もっと安心を

春から夏にかけては参議院選挙一色で動いていましたが、改憲勢力が2/3を超えるという厳しい結果になりました。福島・岩手・宮城の東北被災3県、そして沖縄では野党側が勝利しています。これらの県の苦しみはオールジャパンで分かち合えないのかとツライ気持ちにもなりましたが、野党共闘という野党・市民の選択は希望も与えてくれました。諦めないで、戦争への道を許さない空気を作っていきたい。写真は、おかやまいっぼんのプロジェクトからです。



岡山市議会議員

会派：市民ネット

No.37

2016年6月議会報告

# おにきのぞみ

## 虹色通信

2016年8月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F  
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724  
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262  
Email:hopequal@po7.oninet.ne.jp [http://yaplog.jp/niji\\_oni/](http://yaplog.jp/niji_oni/)



## 大塚 愛さんに聞くー 避難移住者支援の窓口を広く

熊本地震から100日。私はようやく被災地に立ちました。被害が大きい益城町。報道が少なくなっていますが、現地では道路のガレキが撤去された程度。避難所に残る皆さんは住宅確保にご苦労され、復興はこれからです。オールジャパンでの連携が必要です。☆東日本大震災でご自身も福島県から避難をされ、避難移住者支援の活動をしてこられた大塚愛さんに話を聞きました（Oniki）。

☆3.11 東日本大震災から5年半が経ちました。大塚さんご自身が振り返ってみて思うことは。

大塚 福島原発の事故により、自分で建てた我が家や暮らしのすべてを置いて避難した当時は、本当に悲しく大変でしたが、この5年間、支援活動を通してたくさんの人たちと出会い、一緒にがんばってこれたおかげで、私自身が再生することができましたし、他の多くの避難者にとっても、岡山での生活が少しずつ落ち着いてきたのではないかと思います。

ただ、未だに放射能に不安を感じている方は多くおられますし、岡山での避難生活に苦労されている方も少なくありませんので、息長い支援や心のケアが必要だと思います。

☆岡山県は西日本で最も避難者が多い地域です。この間の岡山市の施策をどのように思いますか。

大塚 他県に避難した人が羨むくらい、岡山

の避難移住支援の取り組みは、大きかったと思います。

避難した方の保育料免除の継続やお試し住宅の制度ができたことは、避難後の生活や移住の準備のために大きな助けになりました。また、行政の担当課の方たちと一緒に、カフェ形式のざっくばらんな意見交換会をすることもでき、原発事故からの避難についての理解が深まるよい機会となったと思います。さまざまな取り組みをつないでくださって、ありがとうございました。



☆今そしてこれから、避難移住者支援や岡山市に求められていることについて教えてください。

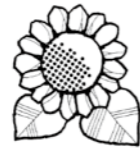
大塚 地元の方はよく「岡山の人冷たい」と言われますが、移住した方から見ると全くそんなことはなく、岡山への移住希望者もまだたくさんおられます。移住者の視点を通して岡山の良さを再発見しながら、今後も受け入れの窓を開いてほしいと思います。

↑写真・加藤晋平

## 6月議会 個人質問から

質問項目

1. 熊本地震から
  - ・女性の視点、外国人の視点、アスベスト
2. 岡山市第六次総合計画
3. 新斎場について



熊本地震直後に行われた6月議会では、熊本地震支援や防災対策にまつわる質問が多く出されました。また、岡山市は待機児童の定義の見直しを行い、実態に近い729人となりました。4月1日の未就園児童は1,343人であり、待機児童対策への質問も相次ぎました。なお、上の子どもの年齢に関わらず、多子世帯の保育料が軽減されます（詳しくは欄外下）。全国的にみて高い岡山市の保育料についてはさらに検討されます。

### 熊本地震から

**女性** 熊本市男女共同参画センターの被災直後からの女性視点での動きは目をみはるものでした。例えば、「避難所・避難先では、困っている女性や子どもを狙った性被害・性暴力・DVなどが増加します」のチラシを作成し、避難所に配布。そして、内閣府のチェックシートをもとに避難所をまわり、怖い思い、複雑な思いをしている方の状況を少しでも改善されるよう検討が行われました。センター自体も拠点施設として、有効な働きをされています。



岡山市での防災計画やマニュアルには女性の視点は盛り込まれていますが、具体的には言及されていません。実際に動くことのできる体制・マニュアルを求めました。さんかく岡山の位置付けもふくめ、見直し、協議をするということです。

**外国人** 熊本市では防災計画に国際交流



会館が外国人避難対応施設と位置付けてあり、緊急避難所となりました。会館をベースに多言語情報発信や相談窓口が置かれ、外国人観光客も含めて多くの利用が行われました。岡山市の防災計画にも、外国人対応施設や相談窓口、多言語発信についての具体化を求めました。

**アスベスト** 熊本市では、5月末時点での調査16,068棟のうち16棟でアスベストが露出。アスベストが使用されているかどうかかわからない建物が199棟。さらに調査を進めているということでした。岡山市も計画の具体化を求めました。関係各課で対応を検討するよう要請するとのことでした。

### 岡山市第六次総合計画

岡山市のまちづくりの未来像と実現に向けた行動計画である「岡山市第六次総合計画」を策定中です。現在、前期中期計画の検討を行っています。市政の課題解決にあたっては、住民一人ひとりがまちづくりを自分ごととしてとらえ、自分ができることに主体的に取り組むことが大切で、そのためには、市民参加と市民が誇りに思える総合計画作りが必要です。

この4月からスタートした改正岡山市協働のまちづくり条例は、市民サイドのメンバーと行政が話し合いと実践を重ね

ながら共通認識をつくり、市民参加のワークショップもいろんな段階で行いながら市民案を練り上げ、条例となりました。

今回の総合計画にあたっては市民参加のワークショップが行われていますが、意見を聴くという段階に止まっているのではという危惧があり、質問をしました。

市民参加を考えるのに、ロジャー・ハートの「参加のはしご」が参考になるので提示。市長はまず、これからは行政主体では限界があり、できるだけ市民と協働をしなくてはならないと述べられました。



上図は、ロジャー・ハートの「参加のはしご」を私なりにリメイクしたものです

そして、総合計画と協働条例は性格が異なるが、両方とも高いレベルの市民参加で策定していると言われました。「参加のはしご」の説明をていねいに行うべきであったと思っていますが、市民参加は自治体運営のベースだと私は考えますので、これからも提案していきます。

### 新斎場について

岡山市北区富吉を候補地とする新斎場計画は、今年度、都市計画決定の手続きを進めるために、その準備の最中です。また、地元では、新斎場整備事業推進協議会が立ち上がり、岡山市が事務局を担うということです。馬屋上学区4町内会のうち1町内会が反対をしている状況のなかで推進協議会が設置されます。地元でこうして賛否が分かれているときに岡山市が推進協議会の事務局を担うのは行

## 暮らしのなかで差別の克服を

### ■ヘイトスピーチを許さない

6月3日にヘイトスピーチ解消法が施行されました。日本政府は、1995年に人種差別撤廃条約に加入してから20年以上も法整備を怠ってきたので、人種差別撤廃にかかわる画期的な日本初の法律です。「適法に居住するもの」として、非正規滞在者などが対象外とされたことなどが問題点として指摘され、私もそう思います。

岡山市内で、4月17日にヘイトスピーチによるデモがありました。市民団体による「使用申請を許可しないように」という事前の申入れにもかかわらず、市は「恐れでは断れない」と公園の使用を許可しました。

6月議会での羽場議員による質問に、市長は、「人としての尊厳を傷つける、また差別意識を生じさせる、こういった事態を招きかねないヘイトスピーチはあってはならない」「法律では地方公共団体にも努力義務ではあるが施策を講じるものとされている」「市が持っている様々な施設の管理について、市として何をしていかなければならないのか検討をしないとイケない」と答弁しました。

法律を暮らしや現場での反差別の取り組みに生かし、具体的に実りあるものに。そして法改正も追求する必要があります。

### ■朝鮮学校補助金

岡山県倉敷市に岡山朝鮮初中級学校があり、岡山市からも子どもたちが通い、岡山市は補助金を出しています。ところが文科省は、都道府県に補助金をセーブする動きにつながりかねない通知を昨年度末に出し、懸念をしていました。

国連は、朝鮮学校に対する補助金の提供の再開あるいは維持をという意見を出し、5月に行われたG7倉敷教育大臣会合倉敷宣言でも多様性の尊重が謳われています。

羽場議員による質問に、岡山市教育委員会教育長は、「教材教具及び図書費を対象としている」「今年度の補助金支出については、予算措置をしているので、学校からの申請が出た時点で、これまでと変わらない対応です（支給）」と答弁しました。

議会終了後、市民ネットでは朝鮮学校を訪問し、金太宇校長と懇談をしました（7.12）。学校内ではすべてハンゲルです。子どもたちはゆったりと学んでいるように感じました。子どもはみんな育てていかなければなりません。

### 6月議会アレコレ

#### ☆保育士要件緩和の条例改正に反対

政府は全国的な保育士不足を受けて、保育士配置要件の規制緩和をしました。これまで保育を行うのは保育士のみでしたが、一定の条件下で、市長が認めたものを保育士とみなして配置する条例が岡山市でも出されました。保健福祉委員会で確認したところ、保育士がいない時間帯が生じるクラスができる可能性が「ないことはない」。そのようなことがないようにチェックをするとのことでしたが、最低基準を決めるのが条例ですので反対をしました（議会としては可決）。保育士確保には、処遇等の改善を積極的に行う必要があります。

#### ☆政務活動費の領収証等の議会ホームページ公開等を求める陳情について

市民の情報公開の声には極力応える必要があります。議会事務局の過重な負担も考慮すべきですが、岡山市より大きな大阪市や県議会レベルで踏み切っているところがあります。まず、調査をすべきで直ちに却下するのは拙速すぎると委員会報告に反対をしました。

政の公平性という視点からは問題があるのではないのでしょうか。

火葬場について考える会の皆さんは、産廃処分場跡地を宅地見込みとして、4

億3000万円余で岡山市が買収したのは、高すぎると裁判を行っています。9月6日、13日に土地鑑定士や元課長などへの証人尋問が行われることになっています。

子どもの貧困対策について「教育・生活・就労・経済の支援にかかわる関係部局からなる協議の場を8月にももつきたい。そこで、就学等の状況などを把握していきたい。私も協議に参加する」と市長答弁がありました。期待しています。